

価値を高める。

令和5年度もひきつづき、流域をはじめ都市部の人々と水源地域を結び、もってそれらの人々の公共利益に寄与することを目的として、吉野川・紀の川の源流部を拠点に、その自然的価値、文化的価値を大切に、流域をはじめ都市部の人々にこれを伝え、共に考え、行動するため、体験学習・交流活動を通じて、広く啓発や環境教育に関する事業を行います。そして、これに必要な拠点施設や関連公共施設の維持管理・運営に関する事業を行い、源流域の自然環境保全活動に努めます。

令和4年度に本財団および森と水の源流館の設立20周年を経て、館は一部展示リニューアルを施し4月より再オープン。20年間の取り組みや出会いがあったからこそできる表現展示で来館者に伝え、それを教育支援の場面においても活用しています。記念事業となった4月29日のオンラインライブ、11月23日のシンポジウムでは、館や法人の成り立ちや設立のおもいをいま一度ふりかえり、共有することができました。ホームページやパンフレットの一新にも着手しました。

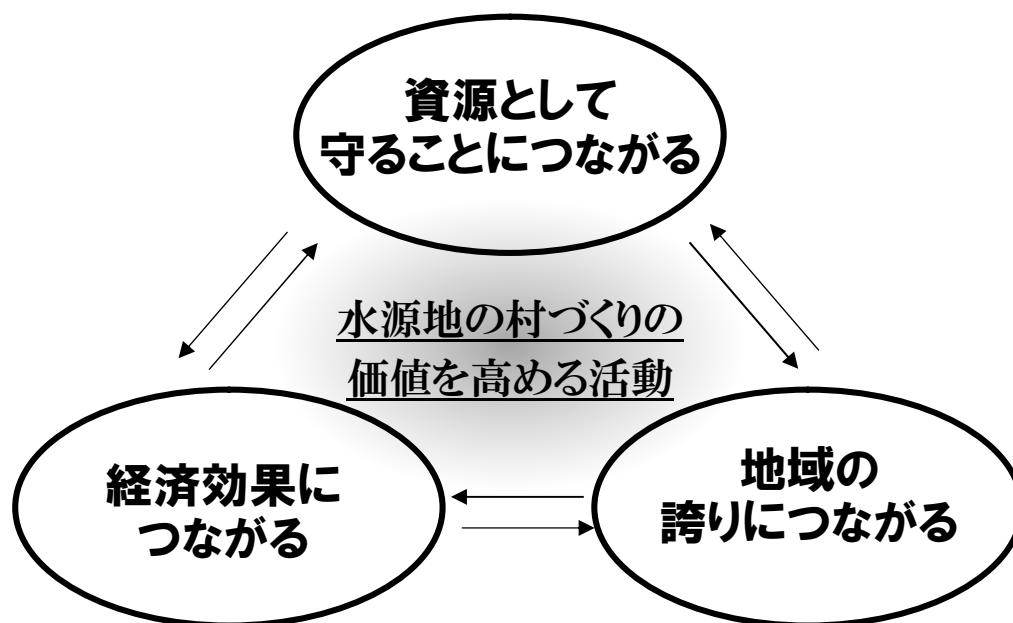
この20周年の意味をしっかりといかし、令和5年度も多様な方面にとって存在意義のある施設ならびに法人であるよう活動してまいります。

そこで、令和5年度から3年間（川上村との指定管理契約残期間）にわたる活動のテーマを「価値を高める。」とします。あらたに職員1名を加え、川上村ならびに流域での持続可能な地域づくりに寄与する活動に取り組めます。

1. 水源地の村づくりの価値を高める。
2. 教育支援活動の価値を高める。
3. 保全活動の価値を高める。
4. 流域連携の価値を高める。
5. 公益法人として役割の価値を高める。

1. 水源地の村づくりの価値を高める。

川上村の水源地の村づくりは、「資源保全」「官民協働」「経済効果」が重なる中心に位置づけられます。私たちも地域と流域の人々といっしょに資源を守り、いかし、それが地域と流域の誇りにつなげられるような活動を行います。



2. 教育支援活動の価値を高める。

ひきつづき奈良教育大学等との連携によってESD (Education for Sustainable Development) を推進します。これらを川上村の新しい教育の取組みの中でもいかしてもらえよう動いてまいります。また村外の学校教育機関には、森と水の源流館と連携できることの価値が高まり、さらに広がる仕組み化に努めます。

3. 保全活動の価値を高める。

水源地の森周辺をフィールドとした保全活動や啓発をひきつづき進めます。また川上村の資源の調査を進めるうえで、村民からの聴き取りや、関心のある村民といっしょに調査を進めるかたちを重視し、3年後の取りまとめを目標にします。また流域にある博物館や活動団体の協力を得て、比較することにより、源流域の価値が高まる連携体制を整えます。

4. 流域連携の価値を高める。

これまでの活動によって、吉野川紀の川流域連携の取組みは評価を得ています。しかし、数年間のコロナ禍の影響による行き来の鈍化や、人事異動、世代交代などもあることから、あらためて体制を点検し、人の流れ、モノの流れが活発になるよう課題解決に動きます。私たちの強みである教育分野ともつなげて、新たな仲間づくりもめざします。

5. 公益法人として役割の価値を高める。

公益法人として、持続可能な地域づくりに寄与することをめざし、法人の実績とノウハウ、人材をもって活動の幅を広げます。

(令和5年度 主な事業)

公益事業Ⅰ 環境学習・体験プログラムの提供にかかわる事業

1. 「吉野川源流－水源地の森」体験プログラムの提供
 - ・ 定例水源地の森ツアー (3回)
 - ・ 団体毎の受け入れ (随時)
2. 森づくり体験プログラムの提供
 - ・ 「源流学の森」「林業体験の森」での保全活動 (3回)
3. 体験学習を通じた環境教育の実施及び支援
 - ・ 団体毎のエコツアー受け入れ (随時)
 - ・ 学校教育団体支援 (随時)
 - ・ 森と水の源流館 ESD 授業づくりセミナー (近畿ESDコンソーシアム)
4. 水源地域の環境保全にかかわる人材の育成
 - ・ 源流人会の運営
 - ・ 会員向け報告会の開催 (1回)
 - ・ 川上村民グループの自主的な環境活動への支援 (適宜)

公益事業Ⅱ 流域交流・啓発にかかわる事業

1. 水源地域の自然及び文化を介した交流行事の実施
 - ・ 源流のつどい
(夏休みイベントで他地域の環境活動団体との交流)
2. 水源地の環境保全の普及啓発のための行事等の開催、印刷物等の刊行、
電子情報媒体の作成
 - ・ 流域連携・交流、啓発・PR (ESDの視点を強調 随時)
 - ・ 機関誌『ぼたり』刊行 (3回)
 - ・ ホームページメンテナンス
 - ・ 森守募金活動

公益事業Ⅲ 源流域の自然や歴史の調査・研究にかかわる事業

1. 水源地域及び流域における参加型観察調査会の実施
 - ・ 吉野川紀の川しらべ隊 (2回)
 - ・ 旧白屋地区ほかでの自然調査・人文調査 (各季)
2. 「吉野川源流－水源地の森」自然実態調査の実施
 - ・ 水源地の森自然実態調査 (通年)
 - ・ 水源地の森下層植生調査 (4回)
3. 源流部における斜面崩壊地での対策実態調査
 - ・ シカ害防止策や土留め柵設置箇所の観察

公益事業Ⅳ 拠点公共施設の管理・運営にかかわる業務

1. 展示を通じて情報発信を行う施設の管理

- ・ 森と水の源流館管理 (通年)
- ・ 企画展等の開催
- ・ リーフレット等の印刷

2. 源流部での体験活動の拠点となる森とこれに附帯する施設の管理

- ・ 水源地の森管理 (通年)
- ・ 水源地の森交流施設管理 (通年)

収益事業Ⅰ ミュージアムショップ事業

- ・ ミュージアムショップ事業 (通年)

収益事業Ⅱ 受託事業

- ・ 和歌山市民の森づくり (和歌山市)
 - ・ 水のつながりプロジェクト (川上村)
 - ・ 大滝ダム 10 周年記念にかかわる業務 (川上村)
 - ・ 第 5 次川上村総合計画推進にかかわる業務 (川上村)
 - ・ 第 6 次川上村総合計画策定にかかわる業務 (川上村)
- (いずれも予定)